

# 文化財ニュース

No. 65

編集・発行 加古川市教育委員会 文化財調査研究センター

文化財調査研究センター ■住所 〒675-0101 加古川市平岡町新在家1224-7 (中央図書館2階、JR東加古川駅から北へ徒歩約10分) ■電話 (079)423-4088 ■FAX (079)423-8975 ■事務取扱時間 平日9:15~18:00 (土・日曜、祝休日、12月29日から翌年1月3日まで、毎月第2月曜は休所)  
 ■ホームページ (加古川市) <https://www.city.kakogawa.lg.jp> (文化財調査研究センター直結QRコード)



昨年度に引き続き、町内会などを經由して全戸配布してきたこの文化財ニュースは、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度も町内会経由の全戸配布ができないため、教育機関や公共施設を通じて配布することになりました。

また、感染症の影響で、祭礼など市内の歴史文化に関係する行事は、規模を縮小したものが多く、中には中止になるものもありました。一方で、文化財の修理や祭礼で使う道具の修理をする機会が増えました。

## 新しい指定文化財

令和4年3月10日の定例教育委員会で、文化財審議委員会の答申を受けた平荘町山角にある報恩寺所蔵の「木造金剛界大日如来坐像 1 軀」が、新しく市指定文化財に加わりました。

これにより、市内の指定・登録文化財は、国指定23件(うち国宝2件)39点、県指定33件56点、市指定70件1,426点、国登録9か所37件になりました。

これらの指定文化財をはじめ、市内にはたくさんの文化財があります。先人たちが伝えてきた地域の文化財を、心豊かな生活のために活用していくとともに、次世代に継承していくことについて、ご理解とご協力をお願いします。

### 新指定

#### 木造金剛界大日如来坐像

1 軀 市指定 彫刻

像高 60.8cm、髪際高 45.6cm

木造彩色 割矧造 玉眼 南北朝時代/14世紀

報恩寺 平荘町山角466番地の1

報恩寺本堂、向かって右奥の脇壇に安置されるこの像は、両手で智拳印を結ぶ『金剛頂経』で最高の教主と位置づけられている金剛界大日如来像です。

全体に経年による劣化と修理の痕跡が傷んでいるよ

うに見えますが、端正な面相と少し重厚感のある自然な肉づきの表現から、中世の優れた仏像であることがわかります。

はじめは、からだの部分を金色、頭髪部分を瑠璃色で彩色し、衣

の部分は切金技法で華やかな模様を施していたようで、材質はヒノキあるいはヒバです。また、台座の大部分は制作当初のもので

像底から内部構造を確認でき、体幹部を前後に割矧いで内割りをした割矧ぎ造りで、頭部は体幹部上部から割り離し、両耳の後ろの線で前後矧ぎした割首で、玉眼を嵌入していることがわかります。

この仏像の作者は、当時の京都で運慶五世孫(あるいは六世孫)を名乗る東寺大仏師の康俊と考えられます。像底に康俊作の朱書がある姫路市の円教寺の金剛薩埵坐像(1359年、県指定文化財)や如意輪寺の如意輪観音坐像(1351年、姫路市指定文化財)と面相をはじめとした像容がたいへんよく似ていて、技法や作風が共通しているためです。

報恩寺は、県指定文化財となっている南北朝時代の古文書や石造品をはじめ、中世の多くの文化財を伝える真言宗の古刹で、同時代に康俊を庇護した播磨守護赤松氏と関係が深かったと考えられています。



報恩寺の木造金剛界大日如来坐像

調査と報告

埋蔵文化財発掘調査

教育委員会では、埋蔵文化財保護のために調査を行っています。令和3年1月から12月までに、遺跡内での工事の届出が120件あり、西田池南遺跡と上村池遺跡で記録保存のための本発掘調査を実施しました。いずれも雁戸井地区は場整備事業に伴うものです。

このほか、遺跡の破壊のおそれがある24件の開発事業などで埋蔵文化財の有無を調べる確認調査を、遺跡の可能性のある開発事業で6件の試掘調査と3件の分布調査を実施しました。

確認調査では、加古川城跡、溝之口遺跡（以上加古川町）、坂元遺跡、大塚遺跡、聖陵山古墳（以上野口町）、西条遺跡（神野町）、中西台地遺跡（西神吉町）、井ノ口遺跡（上荘町）の7遺跡で、試掘調査では、加古川町大野地区の1か所で遺構を確認しました。

埋蔵文化財の保護のため、一般に「遺跡」と呼ばれている「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事を行う場合、地中を掘る行為の60日前までに文化財保護法第93条に基づく埋蔵文化財発掘の届出をしなければなりません。

その届出に基づいて、書類の内容や工事に先立つ確認調査で、工事が埋蔵文化財に及ぼす影響を確認します。その結果、保護の必要がある場合は、可能な限り遺跡が破壊されないよう関係者と協議します。

そして、やむを得ず遺跡を破壊する場合は、記録保存のために本発掘調査を実施し、発掘調査報告書を刊行し記録の保存と公開を行います。

工事と埋蔵文化財保護を円滑に進めるために、土木工事などの計画がある場合は、早めに文化財調査研究センターに連絡してください。

西田池南遺跡発掘調査

八幡町上西条にある西田池南遺跡で、令和3年1月から2月にかけて、農業用水路が整備される範囲約250㎡の本発掘調査を実施しました。その結果、昔の人の活動痕跡である土坑・ピットなどの遺構を複数発見しました。遺物がほとんど出土しなかったため、遺跡の時代や性格についての詳しい情報を得ることはできませんでした。

上村池遺跡発掘調査

八幡町中西条にある上村池遺跡では、令和3年11月から翌年2月にかけて、水路工事で遺跡が壊れてしま



上村池遺跡発掘調査現地説明会のようす

う範囲635㎡の本発掘調査を実施しました。

調査では、主に奈良時代（8世紀代）の集落跡を確認しました。検出遺構は、掘立柱建物跡、溝状遺構、土坑・ピットなどで、掘立柱建物跡は少なくとも7棟あり、いずれも同じ方角を向いています。出土遺物は、奈良時代頃に製作された土師器・須恵器と呼ばれる土器が中心で、ほかに瓦が少量あります。

この遺跡は、平成28・29年度に別の場所3か所で発掘調査をしています。今回の調査結果を含めて、上村池の北側全体に立派な掘立柱建物群が広がっていた様子がわかってきました。

この調査では、1月29日に市民向けの現地説明会を開催し、約200名の参加がありました。

その他の文化財調査

埋蔵文化財のほか、所有者・地域住民からの情報提供による古絵図・古文書等近世史料に関する1件の調査を実施しました。

文化財関係印刷物刊行のお知らせ

令和3年1月から12月までに刊行した文化財関係印刷物は以下のとおりです。文化財調査研究センターをはじめ、関係施設・機関で閲覧することができます。また、解説シートや報告書などの印刷物をホームページで公開しています。

『加古川市文化財年報第4号平成30（2018）年度』（2021年、A4判52頁）	非売品
『片山遺跡発掘調査報告書』（2021年、A4判70頁） 加古川市文化財調査報告34	
文化財解説シート（2021年、各A4判1枚両面刷） 第25号『里古墳の画文帯神獸鏡』、第26号『西条廃寺跡』 第27号『良野の宝篋印塔』、第28号『養老の宝篋印塔』	非売品 （配布用、 残部有）

（前号の文化財ニュースに掲載漏れの令和2年刊行の報告書）

『古大内遺跡発掘調査報告書』（2020年、A4判40頁）加古川市文化財調査報告33	非売品
---	-----



**文化財関係出版物の販売** //

教育委員会では、過去に刊行した文化財関係出版物を販売しています。購入を希望の場合は、直接、来所ください。郵送の場合は、送料などが必要です。詳しくは文化財調査研究センターまで。

**【普及図書】**

『郷土のおはなしとうた第3集』（1976年、A5判94頁）	600円
『加古川市の文化財』（1988年改訂、A5判123頁）	1,000円
『加古川市文化財図録』（1995年、A4判107頁）	3,800円

**【文化財調査報告書】**

『岸遺跡発掘調査報告』（1961年、B5判23頁）	200円
『山之上遺跡Ⅰ』（1977年、B5判8頁）	200円
『東中遺跡発掘調査報告書』（1981年、B5判106頁）	1,200円
『加古川市埋蔵文化財調査集報Ⅰ』（1983年、B5判28頁）	500円
『加古川市の民俗』（1985年、B5判291頁）	1,200円
『加古川市遺跡分布地図』（1994年改訂、A4判291頁）	1,800円
『奥新田西古墳発掘調査報告書』（2000年、A5判41頁）	500円

保護と活用

教育委員会では、市内の文化財保護のための事務とともに、文化財保護意識を高めるための事業を行っています。文化財の公開、説明板の設置、講座の開催、講師の派遣、指定文化財の整備や保存管理事業に対する補助などです。

また、加古川市文化財保護協会や加古川文化遺産活性化実行委員会をはじめ、地域の歴史・文化財関係団体とともに、文化財の保護と活用に取り組んでいます。

令和4年1月23日には、消防関係者が中心となって文化財防火デー消防訓練が鶴林寺（加古川町）で実施されるなど、災害から文化財を守る取組みが定期的に行われています。

**文化財の公開** //

少年自然の家（東神吉町天下原）の敷地内にある県指定文化財「本岡家住宅」では、屋内に農具を中心とした民具、屋外に水防飛来船という救助船などを展示しています。毎年、こどもの日（5月5日）、ひょうごヘリテージマンス期間のうち11月下旬の1週間、少年自然の家の無料散策日に特別公開しています。一般公開などのお問合せは、文化財調査研究センターまで。また、少年自然の家無料散策日については少年自然の家（電話432-5177）まで。

また、加古川総合文化センター博物館では、西条古墳群の行者塚古墳からの出土資料をはじめ、市内の遺



跡から出土した考古資料や市民の皆様から寄せられた民具など、貴重な資料を展示しています。令和3年7月24日から翌年3月27日まで加古川総合文化センター博物館で企画展「発掘された加古川」を開催しました。溝之口遺跡、美乃利遺跡、石町中世墓など近年の埋蔵文化財発掘調査成果を紹介するもので5千人近くの入場者がありました。

そのほか、国指定史跡の西条古墳群、県指定史跡の古代寺院跡である西条廃寺跡（山手二丁目ほか）、そして、近代の農業用水の水路橋で移設保存された市指定文化財の平木橋（野口町水足）、宮山遺跡（八幡町上西条・中西条）、その他、日岡山古墳群（加古川町大野）、里古墳（平荘町里）、西山大塚古墳（平荘町西山）、奥新田西古墳（平荘町中山）、石のタライ（加古川町美乃利）については、いつでも見学することができます。

また、教育委員会が保管している資料については、各地から調査、展覧会への貸出し、出版物への掲載などの依頼があります。令和3年1月から12月までの1年間で、特別展準備や研究発表などを目的とした6件180点の調査を受入れ、小野市での特別展などに3件25点（うち継続は2件20点）の貸出し、10件41点の出版物への掲載を承諾しました。

**坂元の石造宝篋印塔修理** //

6月には、県指定文化財で和泉式部の伝説が伝わる野口町坂元の石造宝篋印塔の修理が行われました。石塔が傾き倒れる危険があったため、地元の町内会が、兵庫県と加古川市の補助を受けて、解体・基礎固め・傾き補正・積直しの修理を実施しました。



坂元の石造宝篋印塔

作業中に、塔身とうしんの上部に短い経巻きょうかんを納めることのできる大きさの長細い孔あなを新たに確認しました。

**本岡家住宅屋根小修理** //

7月には県指定文化財の本岡家住宅屋根の小修理を実施しました。以前から茅葺かやぶき屋根の茅をカラスなどの鳥が抜き取る被害ひがいがあり、屋根にできた穴あなが大きくなっていました。

**日岡山古墳群の樹木伐採など** //

教育委員会が管理している古墳などは、毎年、草刈りなどの環境整備かんきょうせいびを行っています。

令和3年度は、主に強風による危険ひおやかまに備え、日岡山公園の南大塚古墳周辺の高木13本を伐採し、県史跡西条廃寺跡の樹木3本を剪定せんていしました。

文化財を保護し、良好な状態じょうたいで見学できるよう管理することについてもご理解とご協力を願います。

**文化財説明板・標柱** //

教育委員会では、文化財に関する理解を深め文化財保護意識の高揚を図るため、文化財説明板と標柱を設置するよう努めています。



東神吉南小学校の砂部遺跡説明板

令和3年は東神吉南小学校の砂部遺跡説明板をはじめ、傷んでいた説明板5件と標柱3件を立替えました。

令和3年12月31日現在、文化財に関係する178件の説明板と164件の標柱を設置しています。

**文化財講座** //

教育委員会では、毎年、地域の歴史や文化財についての理解を深めるための事業として文化財講座を開催しています。

令和3年度も青少年女性センターを会場に、10月23日「加古川の中世お墓事情」(狭川真一先生)、11月6日「播磨の平城京出張所と加古川」(森内秀造先生)、11月20日「古墳時代の加古川」(初村武寛先生)の3回の文化財講座を開催し、延べ220名の皆様の参加がありました。

**協働のまちづくり推進事業協力** //

昭和30年代の西条古墳群発掘調査の資料整理に取り

組んでいる歴史団体である東播磨地域史懇話会こんわが、令和3年度の加古川市の協働のまちづくり推進事業補助金事業として、「西条古墳群出土遺物いぶつを活かした地域史セミナー活動」として報告書作成などの事業を実施しました。

**地域文化財総合活用推進事業協力** //

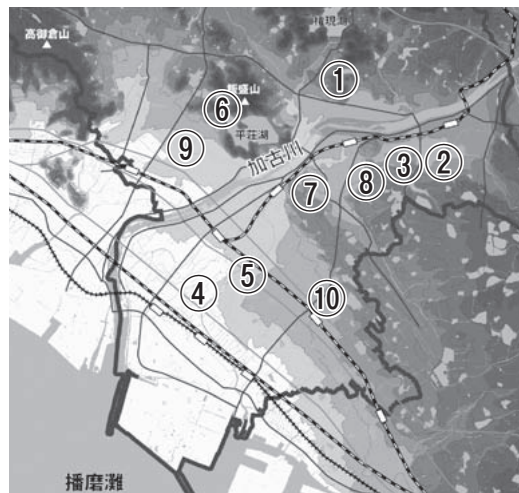
この事業は国の事業で、わが国の「たから」である地域の多様で豊かな文化遺産を活用した、伝統芸能・伝統行事の公開・後継者養成こうけいしやようせい、古典に親しむ活動など、各地域の実情に応じた特色ある総合的な取り組みに対して支援することで、文化振興とともに地域活性化を推進することを目的としています。

市内では、令和3年度は「伝統文化親子教室」として能楽、獅子舞、笛、いけばな、茶道、俳句、百人一首、伝統文化伝承など15団体の事業が実施されています。また、関係団体によって加古川文化遺産活性化実行委員会が組織され、5件の屋台や太鼓の修理事業などが実施されています。

詳しい内容については、文化庁のホームページで確認し、事業の実施にあたっては、加古川文化遺産活性化実行委員会、または文化財調査研究センターにご相談ください。

**加古川市文化財保護協会の会員募集** //

加古川市文化財保護協会は、市内の文化財ならびに自然風土を保護し、これらに関する研究とその知識の普及をはかり、市民文化の向上に資することを目的として昭和51(1976)年から活動している市民団体です。お問合せは文化財調査研究センターまで。



- ① 報恩寺
- ② 西田池南遺跡
- ③ 上村池遺跡
- ④ 鶴林寺
- ⑤ 坂元の宝篋印塔
- ⑥ 本岡家住宅
- ⑦ 日岡山古墳群
- ⑧ 西条廃寺
- ⑨ 砂部遺跡
- ⑩ 文化財調査研究センター・加古川総合文化センター・博物館

文化財ニュース65号関係文化財地図